

郡山市では、都市緑地法第4条に基づき、緑地の適正な保全、緑化の推進を総合的かつ計画的に実施するために「郡山市緑の基本計画(2021年度～2030年度)」を策定しました。

本計画を推進するにあたり、多くの市民の皆さまから「郡山市の緑」(※)についての意見をお伺いするため、アンケートを実施いたしましたので、その結果についてお知らせします。

※ここで言う「緑」とは、樹木や草花といった植物だけでなく、山林・河川などの自然環境、農地・公園・街路樹などの人工的な緑、さらに、民有地の庭や花壇等の身近にある緑も含まれます。

(公園緑地課)

【調査概要】

- 調査期間 令和7年11月20日(木)～11月29日(土) 10日間
- 回答方法 専用ウェブサイトから回答を返信
- モニター数 427名(男性185名、女性241名、不明1名)
- 回答者数 371名(男性156名、女性214名、不明1名)
- 回答率 86.9%

【分析】

《回答者内訳》

(人)

年代	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
男性	4	11	27	40	37	23	14	156
女性	13	27	61	64	38	10	1	214
不明	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	18	38	88	104	75	33	15	371

《緑の現状について》

- ・緑に対し、92.7%が「関心がある」または「やや関心がある」と回答した。(問1)
- ・緑の量について、48.2%が「適正」と回答し、「多い」または「やや多い」は31.8%、「少ない」または「やや少ない」は20.0%であった。(問2)
- ・10年前と比較した緑の量の変化について、42.3%が「変わらない」と回答し、「減った」または「やや減った」は33.2%、「増えた」または「やや増えた」は7.8%であった。(問3)

《公園について》

- ・公園の利用頻度について、54.1%が「ほとんど利用しない」または「年に数回」と回答し、15.1%が「毎日」または「週に数回」と回答した。(問7)
- ・公園を利用する理由として「散歩、散策」(51.9%)が最も多く、「子どもを遊ばせるため」(21.6%)が次いで多かった。また、公園を利用しない理由として「利用するきっかけ、時間がない」(81.0%)が最も多かった。(問10、問11)
- ・重要な公園の役割、機能として「休息・憩いの場」(74.1%)が最も多く、「災害時の避難場所」(61.2%)が次いで多かった。(問13)

《今後の緑の方針について》

- ・市の緑に必要な機能として「温暖化の抑制、大気汚染の浄化」(49.1%)が最も多く、「災害時の避難場所」(38.3%)が次いで多かった。(問15)
- ・市が実施する取組みに望むこととして「公園、街路樹等の適切な維持管理」(71.7%)が最も多く、「森林、河川、湖沼等の自然環境・生態系の保全」(51.2%)が次いで多かった。(問16)

【考察】

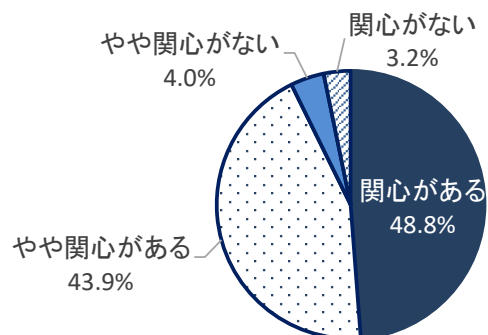
- ・10年前と比較した緑の量は「変わらない」または「減った」との回答が多かったものの、現状の緑の質について、肯定的な回答(満足、やや満足、適正の合計)の割合が7割を超えており、郡山市の緑は概ね良好であると考えられる。その一方で、伐採による街路樹、桜並木の減少、太陽光発電設備等の林地開発による森林の減少が指摘されていることから、今後は緑の保全・管理を一層強化する必要がある。
- ・公園の利用頻度は「ほとんど利用しない」または「年に数回」との回答が5割を超えており、「利用するきっかけ、時間がない」というのが利用しない主な理由となっている。どのような公園になれば利用したいかについて、駐車場や民間が運営する施設の整備、適正な維持管理等があげられており、利用したくなる公園を目指した施設整備や維持管理が必要である。
- ・市と市民が協働して実施すべき取組みは「公園、街路樹等の適切な維持管理」との回答が約5割となっており、行政・民間事業者・地域の橋渡し役となる中間支援組織の設置など、市と市民が協働出来る体制について検討する必要がある。
- ・市が実施する緑化支援策の知名度は「知っている取組みはない」との回答が約3割となっており、「緑化支援策があることを事前に知りたかった」との意見もあったことから、更なる周知について検討する必要がある。

※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。
 ※複数回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、すべての比率を合計すると100.0%を超える場合があります。

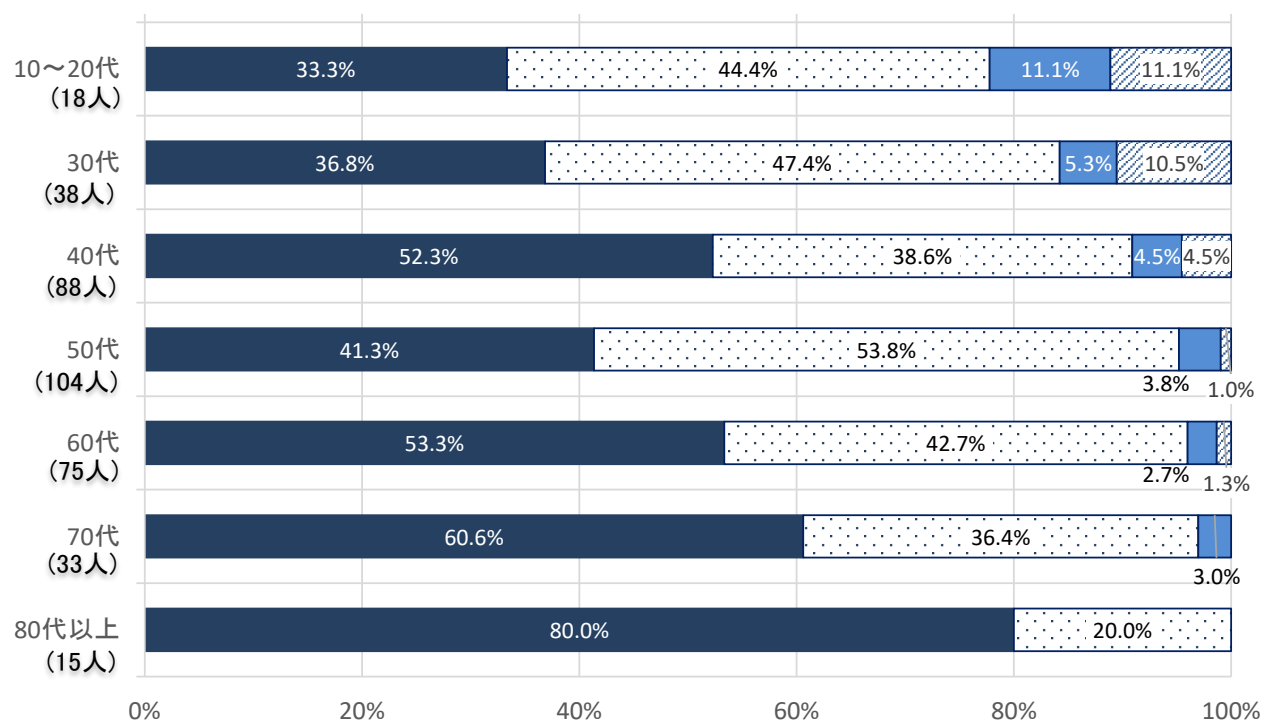
第1章 郡山市の緑の現状について

問1 緑に関心はありますか？（1つ選択）

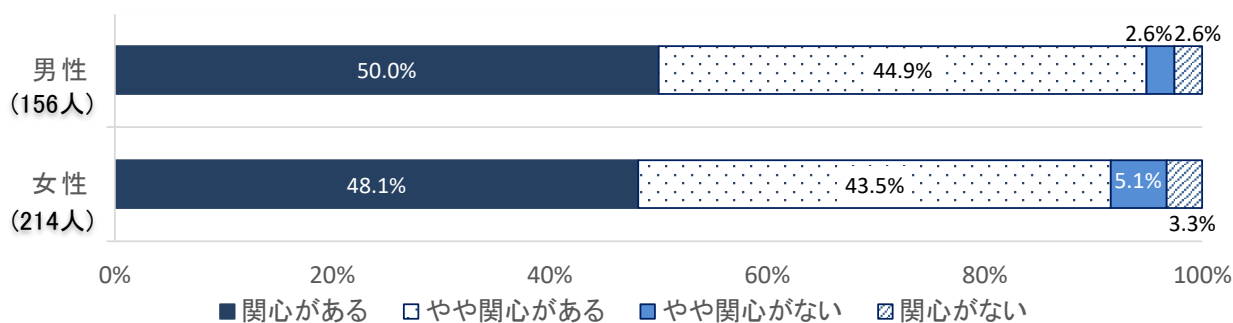
（回答者：371人）



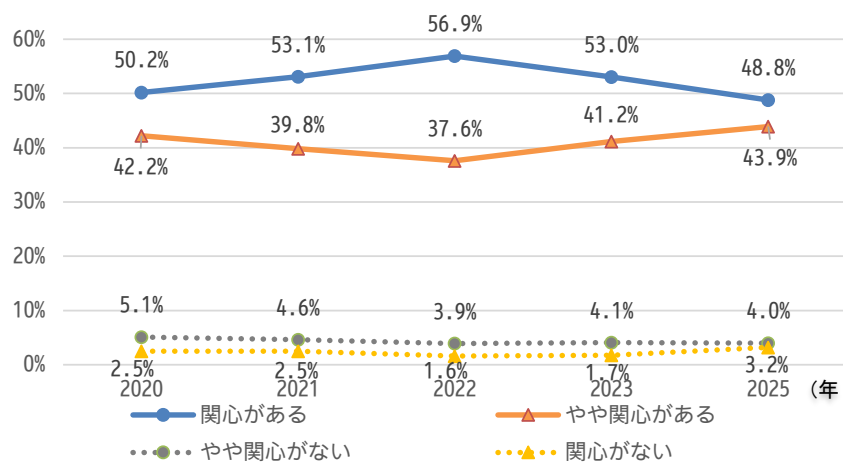
年代別



性別



【関心度についての経年変化】

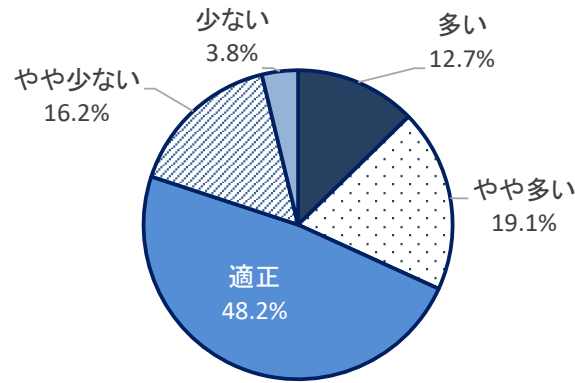


※2023年以降、アンケートは隔年実施

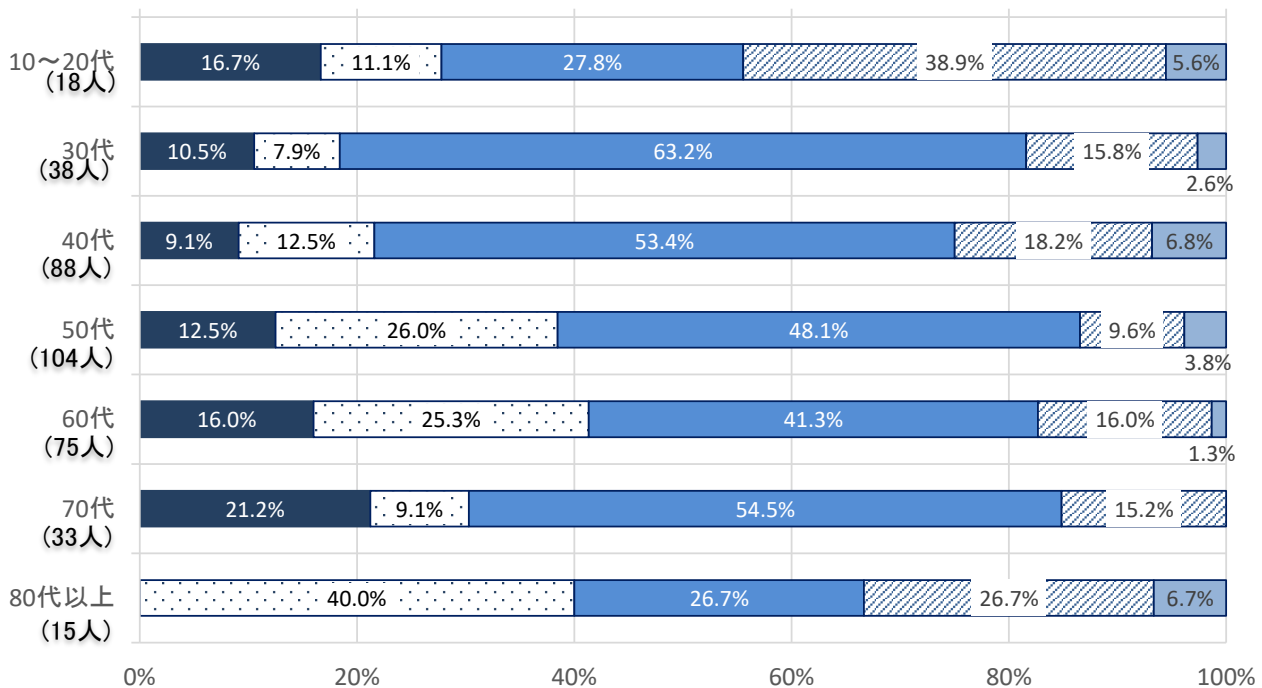
緑への関心について、関心ありは9割を超えており、非常に高い。
年代別では、40代以上の全年代で関心ありが9割を超えている一方で、10～20代は7割、30代は8割であったことから、若い年代で緑への関心が若干低いことが見受けられる。

問2 お住まい（職場、学校含む）周辺の郡山市の緑の量について、どのように感じますか？
（1つ選択）

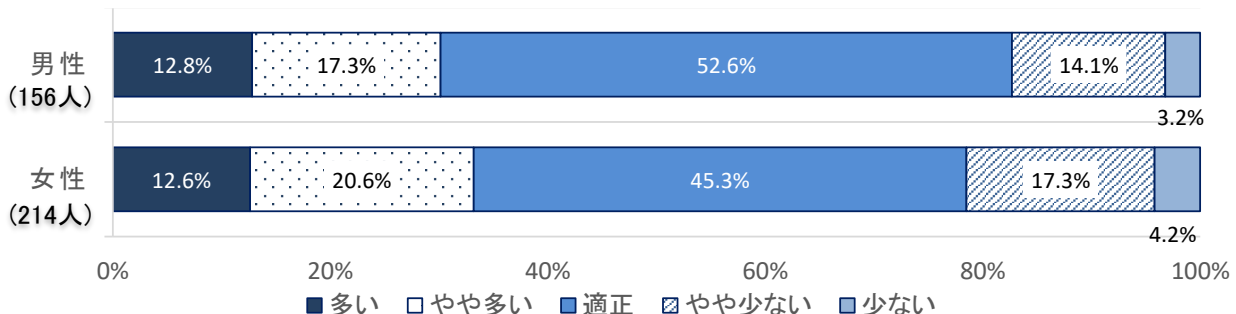
（回答者：371人）



年代別



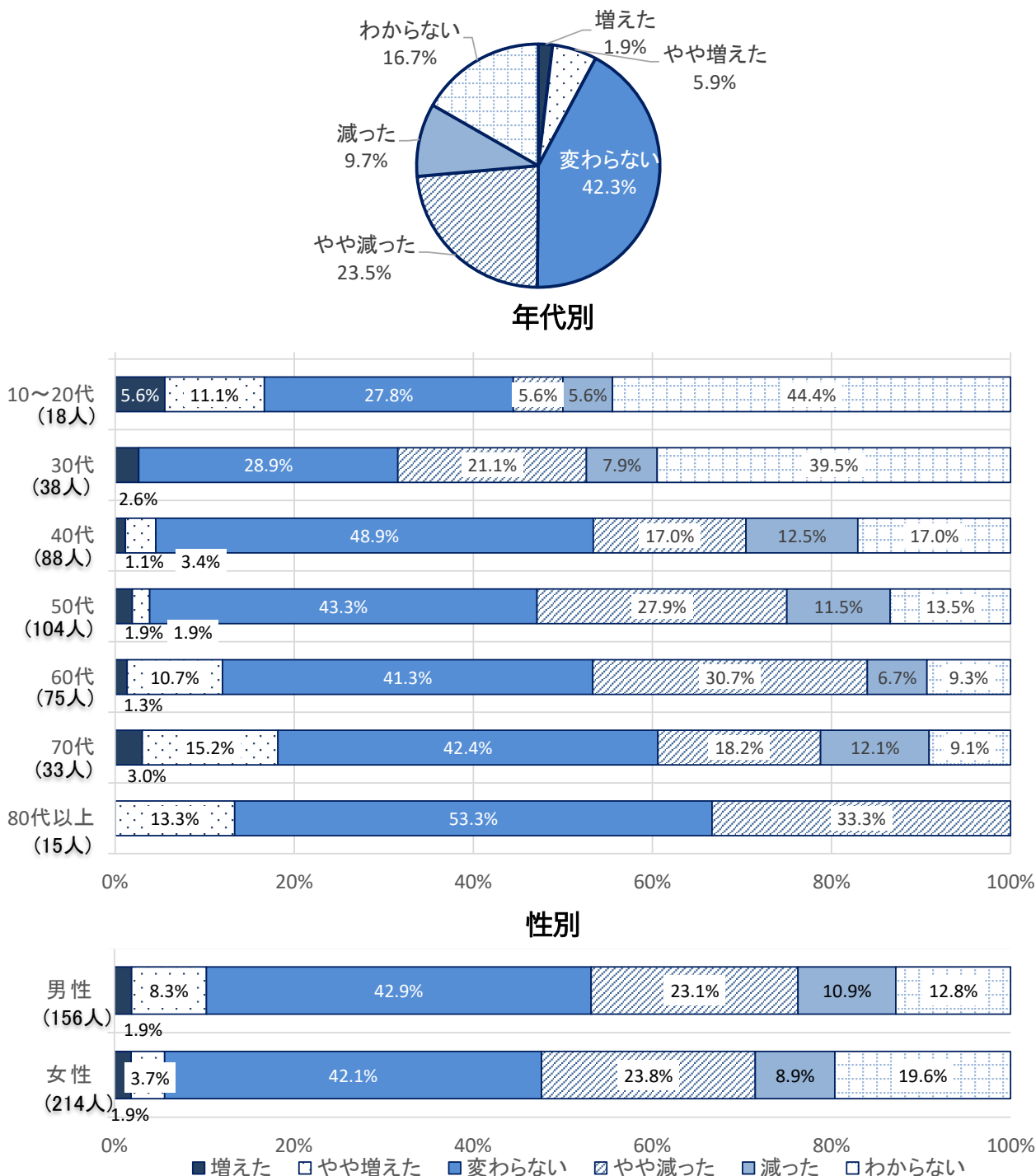
性別



緑の量について、「適正」が48.2%と最も多く、次いで「多い」「やや多い」の合計が31.8%、「少ない」「やや少ない」の合計が20.0%となっており、概ね満足していることが見受けられる。
年代別では、60代、80代以上、50代の順に「多い」「やや多い」の合計が多かった一方で、10～20代、80代以上、40代の順に「少ない」「やや少ない」の合計が多かった。
男女別では、男性の方が「適正」が7.3ポイント多かった。

問3 10年前と比べて、郡山市の緑の量はどう変わりましたか？（1つ選択）

（回答者：371人）



10年前の緑の量との比較について、「変わらない」が42.3%と最も多く、次いで「減った」「やや減った」の合計が33.2%、「増えた」「やや増えた」の合計が7.8%となっており、現状の緑の量は10年前とあまり変わっていないと感じていることが見受けられる。

年代別では、70代、10～20代、80代以上の順に「増えた」「やや増えた」の合計が多かった一方で、50代、60代、80代以上の順に「減った」「やや減った」の合計が多かった。

男女別では、男性の方が「増えた」「やや増えた」の合計が4.6ポイント多かった一方で、女性の方が「わからない」が6.8ポイント多かった。

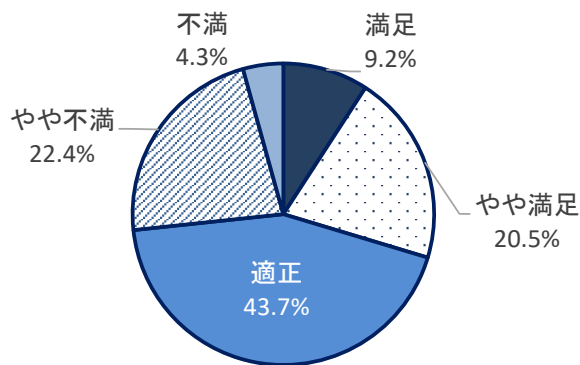
問4 特に緑が増えた、または減ったと感じる具体的な理由や場所はどこですか？（自由記述）

（回答者：113人）

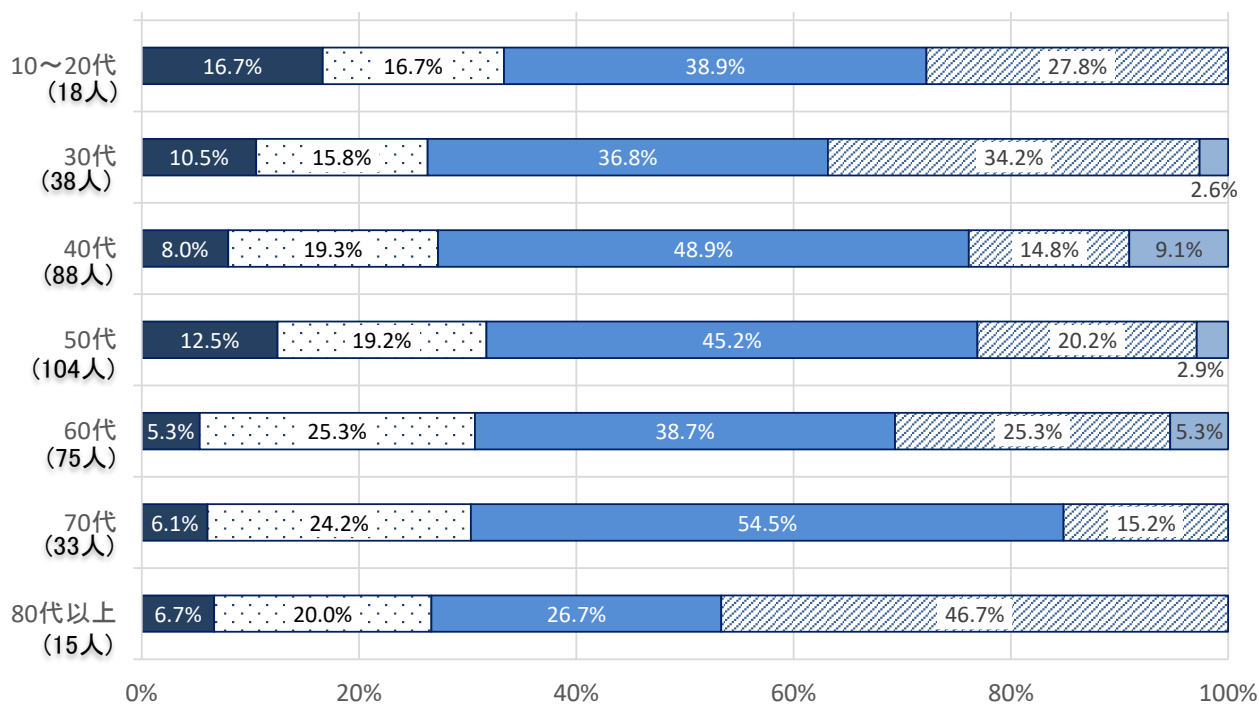
緑が増えた場所として「公園」などの回答があり、緑が増えた理由として「公園の花壇が整備されてきている」「新たに公園が整備された」などの回答があった。

緑が減った場所として「道路」「河川」「山林」などがあり、緑が減った理由として「伐採により街路樹、桜並木が減った」「宅地化により田畑が減った」「太陽光発電設備等の林地開発により森林が減った」「松くい虫、カミキリムシの被害対策のための伐採により樹木が減った」などの回答があった。

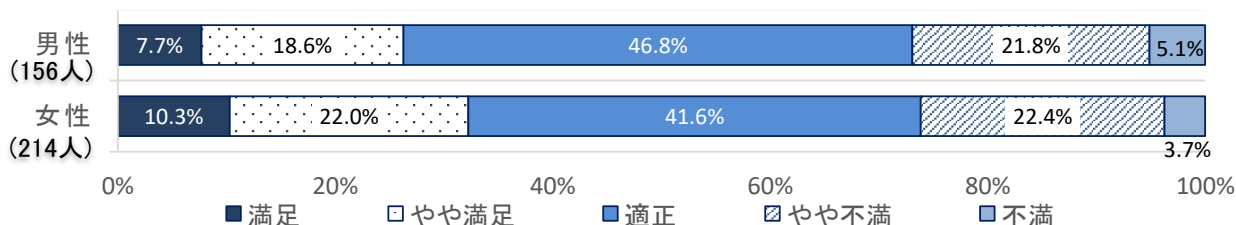
問5 お住まい（職場、学校含む）周辺の郡山市の緑の質(※)について、満足していますか？
(1つ選択)
 ※「緑の質」とは、緑の量だけではなく、美しさや多様な役割（環境保全、防災、レクリエーション、景観等）などのことを示します。
 (回答者：371人)



年代別



性別



緑の質について、「適正」が43.7%と最も多く、次いで「満足」「やや満足」の合計が29.7%、「不満」「やや不満」の合計が26.7%となっており、概ね満足していることが見受けられる。
 年代別では、10～20代、50代、60代の順に「満足」「やや満足」の合計が多かった。
 男女別では、大きな差異は見られなかった。

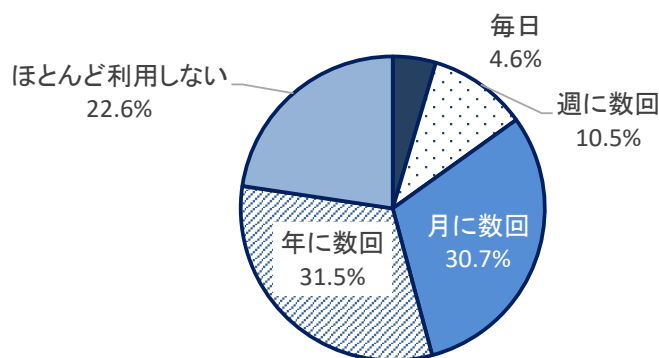
問6 問5で「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」を選択した方に伺います。特に緑の質に満足、または不満に感じる具体的な理由や場所はどこですか？（自由記述）
 (回答者：119人)

緑の質について満足に感じる場所として「近隣の公園・緑地等」などの回答があり、満足に感じる理由として「適度に公園が配置されており、町内会の活動も活発で、管理が適切に行われていると感じる」などの回答があった。
 緑の質について不満に感じる場所として「道路」「河川」などの回答があり、不満に感じる理由として「街路樹が少なくなった」「管理が適切に行われていない」などの回答があった。

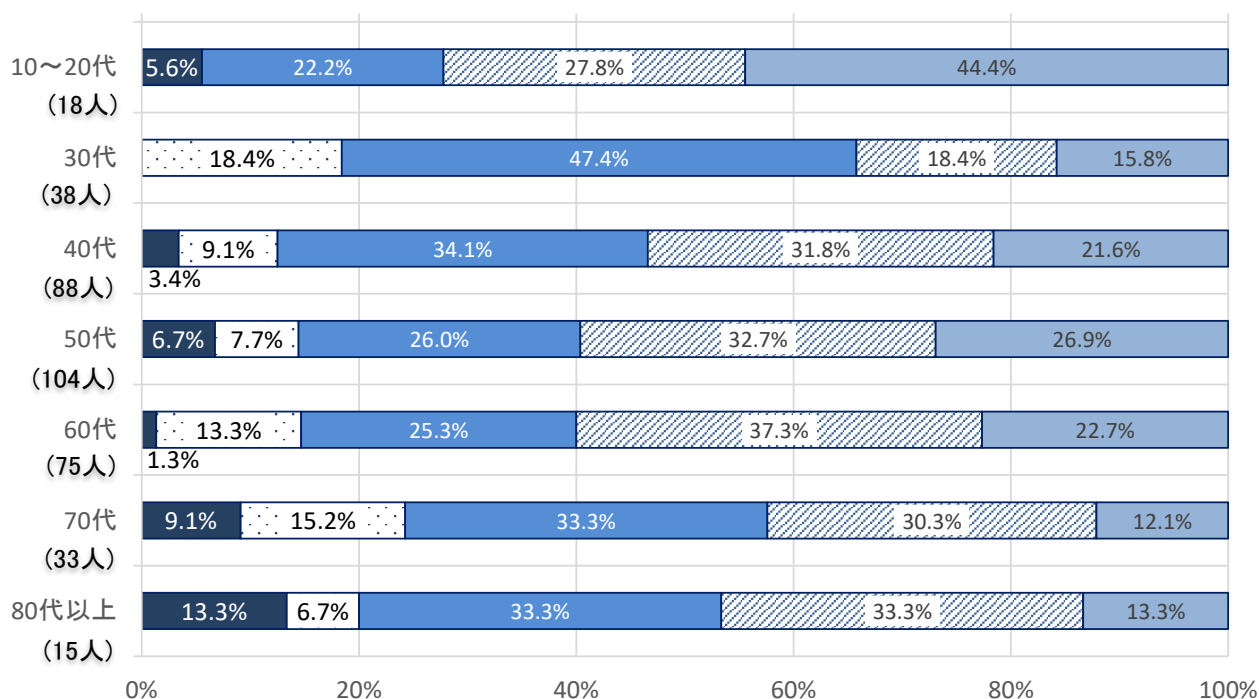
第2章 郡山市の公園について

問7 どの程度公園を利用しますか？（1つ選択）

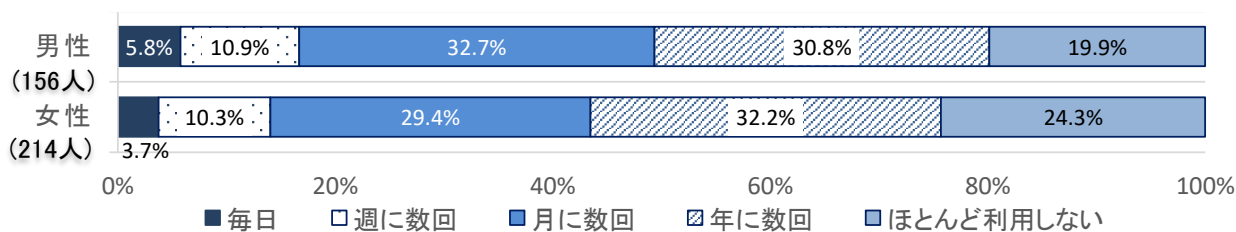
（回答者：371人）



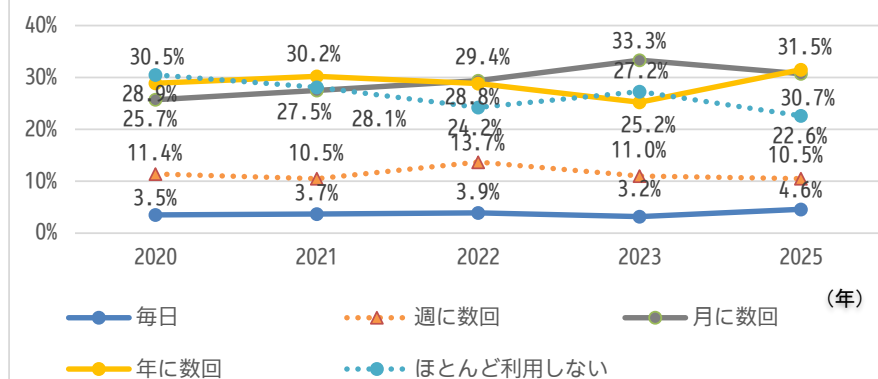
年代別



性別



【利用頻度についての経年変化】

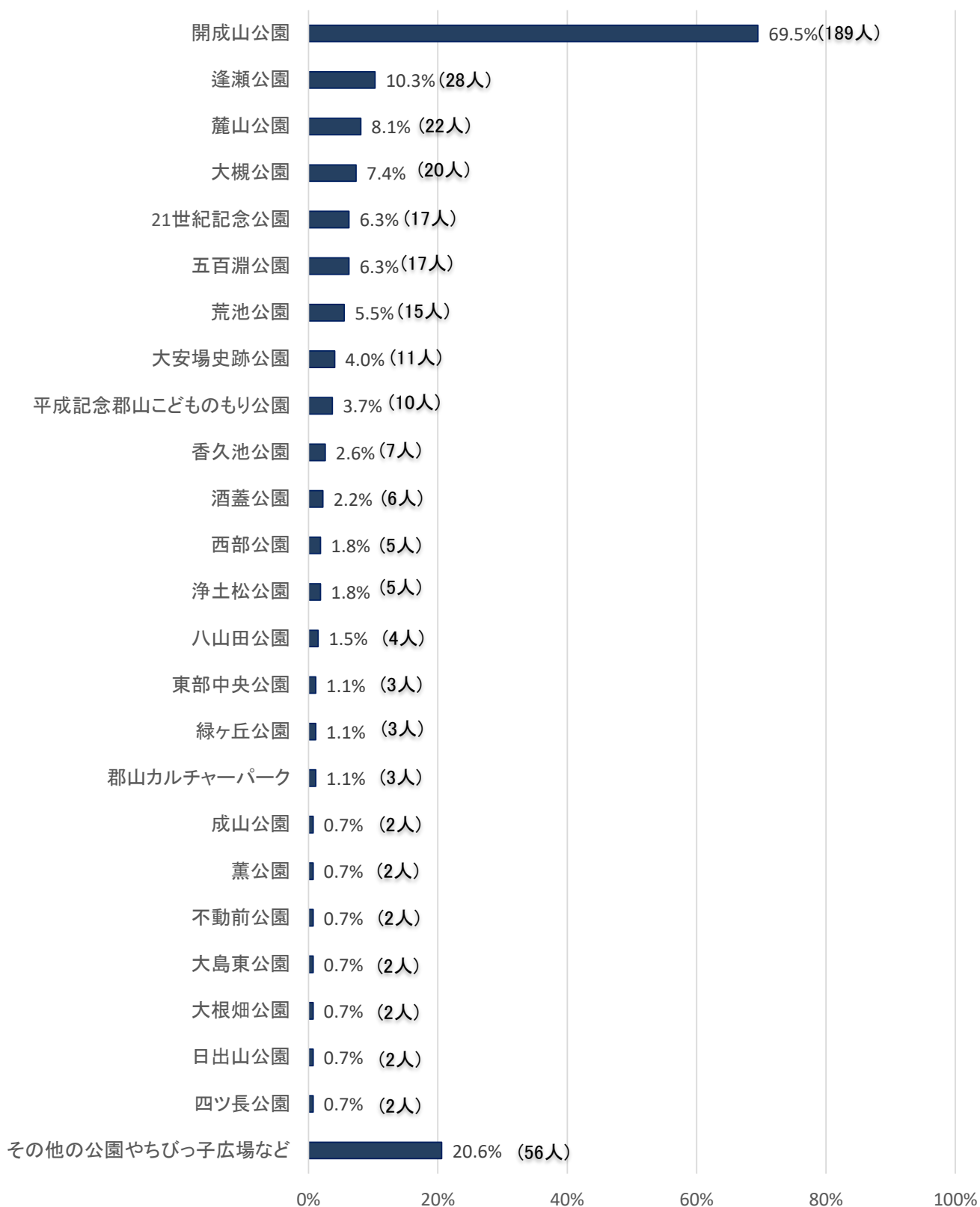


公園の利用頻度について、「年に数回」が31.5%と最も多く、次いで「月に数回」が30.7%、「ほとんど利用しない」が22.6%、「週に数回」が10.5%、「毎日」が4.6%となっており、あまり多くないことが見受けられる。

年代別では、70代、80代以上、30代の順に「毎日」「週に数回」の合計が多かった一方で、60代、50代、40代の順に「ほとんど利用しない」「年に数回」の合計が多かった。

男女別では、女性の方が「ほとんど利用しない」「年に数回」の合計が5.8ポイント多かった。

問8 問7で「毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を選択した方に伺います。利用する公園をお書きください。
(回答者：272人)

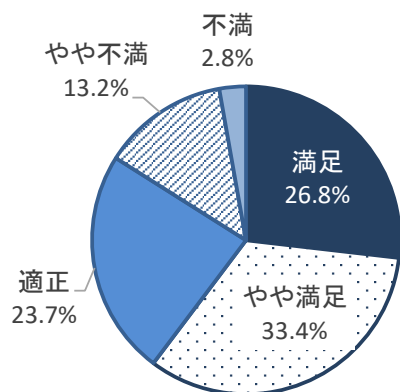


※割合は、回答者数に対する選択者数の値となります。

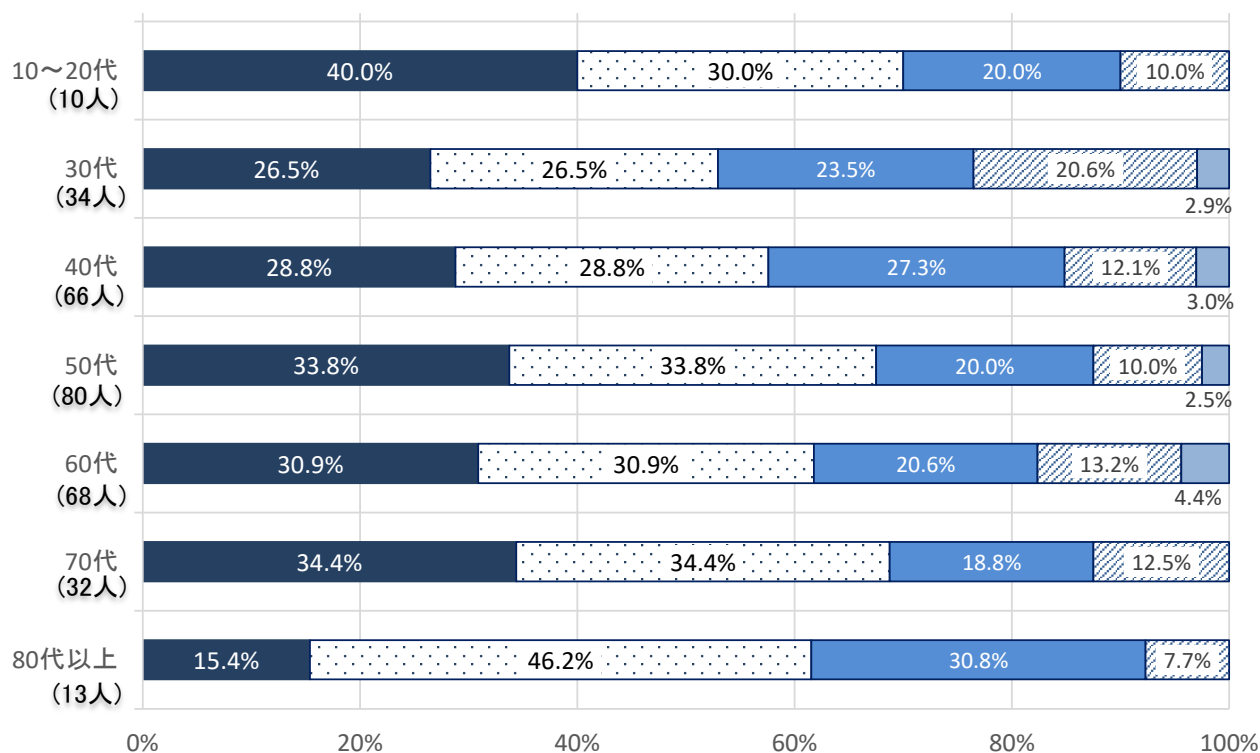
よく利用する公園として「開成山公園」が69.5%と最も多く、次いで「逢瀬公園」が10.3%、「麓山公園」が8.1%、「大槻公園」が7.4%、「21世紀記念公園」「五百淵公園」が6.3%となっており、開成山公園が突出して利用されていることが見受けられる。

問9 問7で「毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を選択した方に伺います。利用する公園について、満足していますか？（1つ選択）

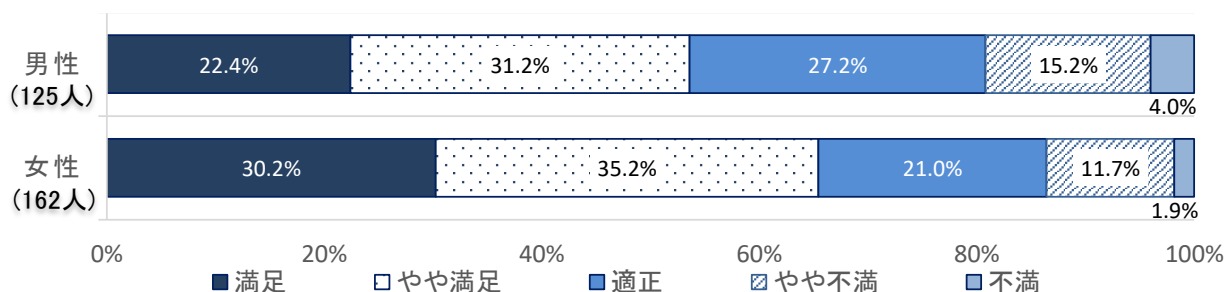
（回答者：287人）



年代別



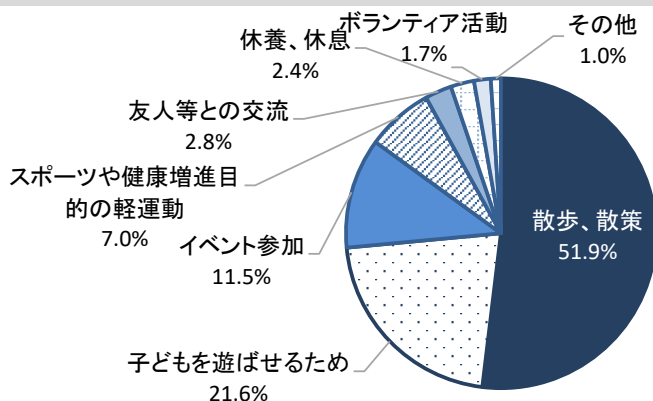
性別



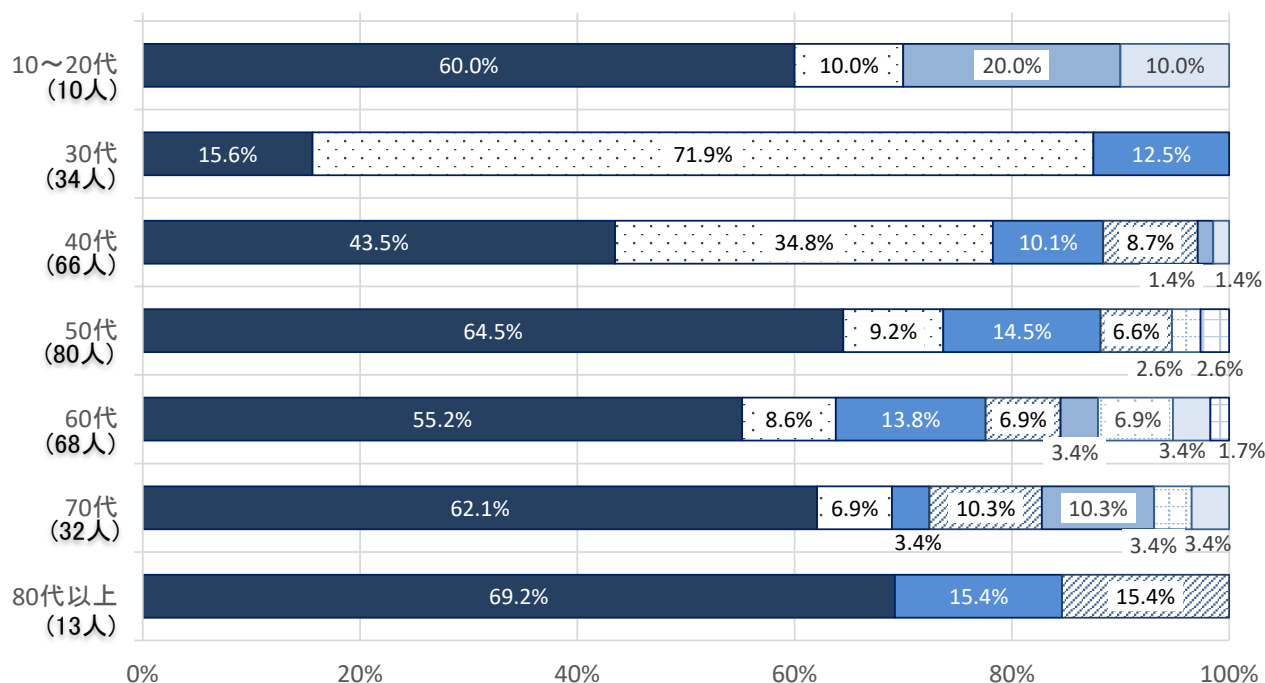
利用する公園の満足度について、「満足」「やや満足」の合計が60.2%と最も多く、次いで「適正」が23.7%、「不満」「やや不満」の合計が16.0%となっており、概ね満足していることが見受けられる。
年代別では、10～20代、70代、50代の順に「満足」「やや満足」の合計が多かった一方で、30代、60代、40代の順に「不満」「やや不満」の合計が多かった。
男女別では、女性の方が「満足」「やや満足」の合計が11.8ポイント多かった。

問10 問7で「毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を選択した方に伺います。利用する理由は何ですか？（1つ選択）

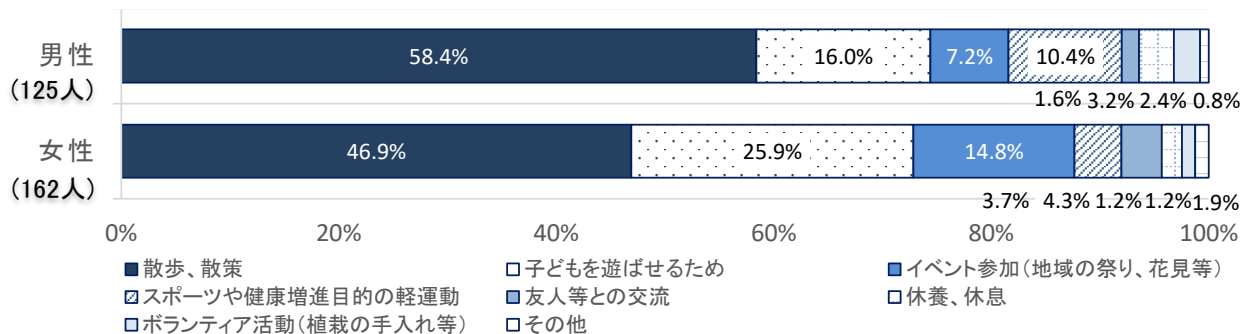
（回答者：287人）



年代別



性別



※「その他」を選択した方の主な意見

・バードウォッチング

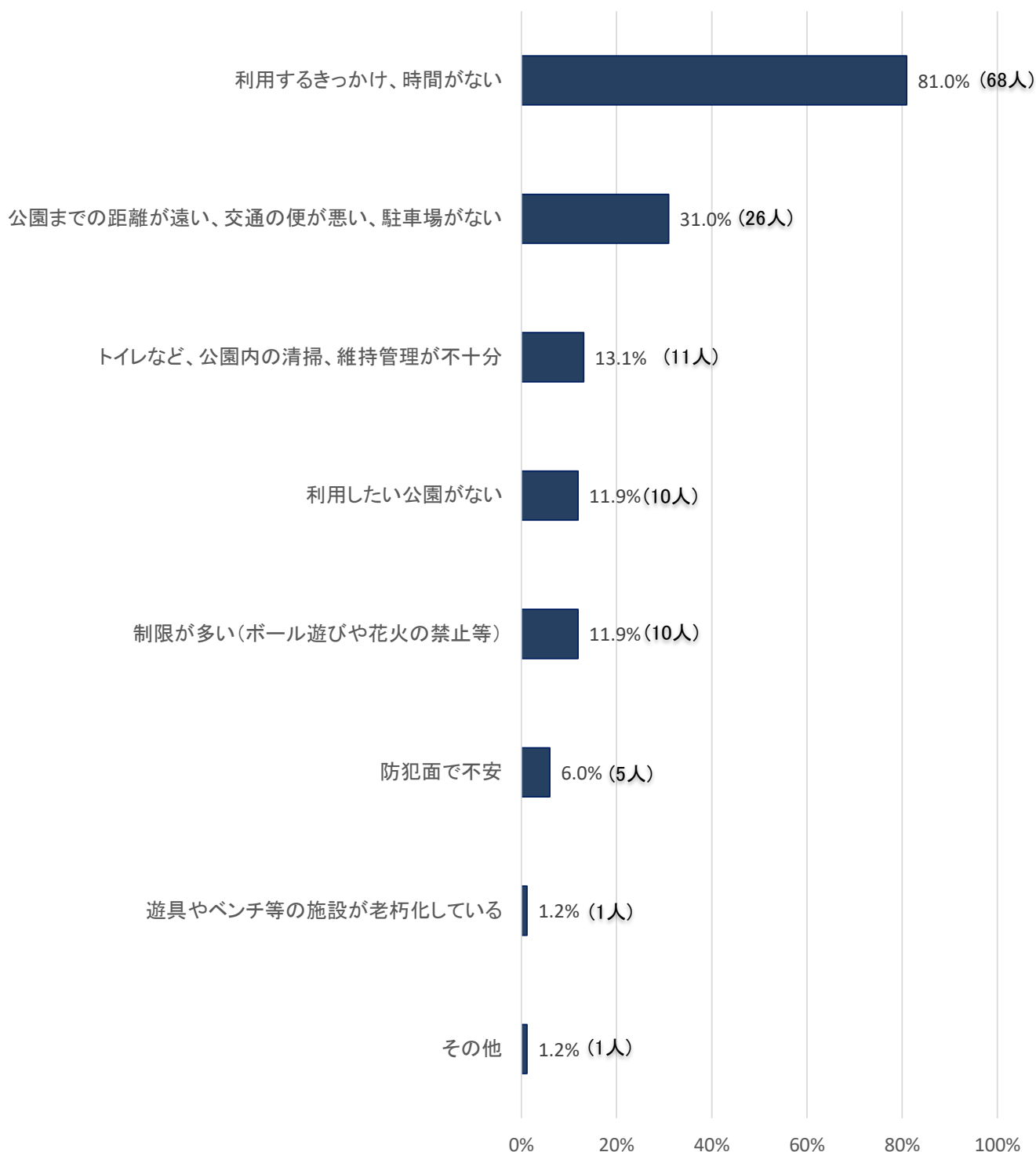
公園を利用する理由について、「散歩、散策」が51.9%と最も多く、次いで「子どもを遊ばせるため」が21.6%、「イベント参加」が11.5%であった。

年代別では、30代は「子どもを遊ばせるため」が最も多く、それ以外は「散歩、散策」が最も多くなっており、年代により主な利用目的が異なることが見受けられる。

男女別では、女性の方が「子どもを遊ばせるため」が9.9ポイント多かった一方で、男性の方が「散歩、散策」が11.5ポイント多かった。

問11 問7で「ほとんど利用しない」を選択した方に伺います。利用しない理由は何ですか？
(3つまで選択可)

(回答者：84人)

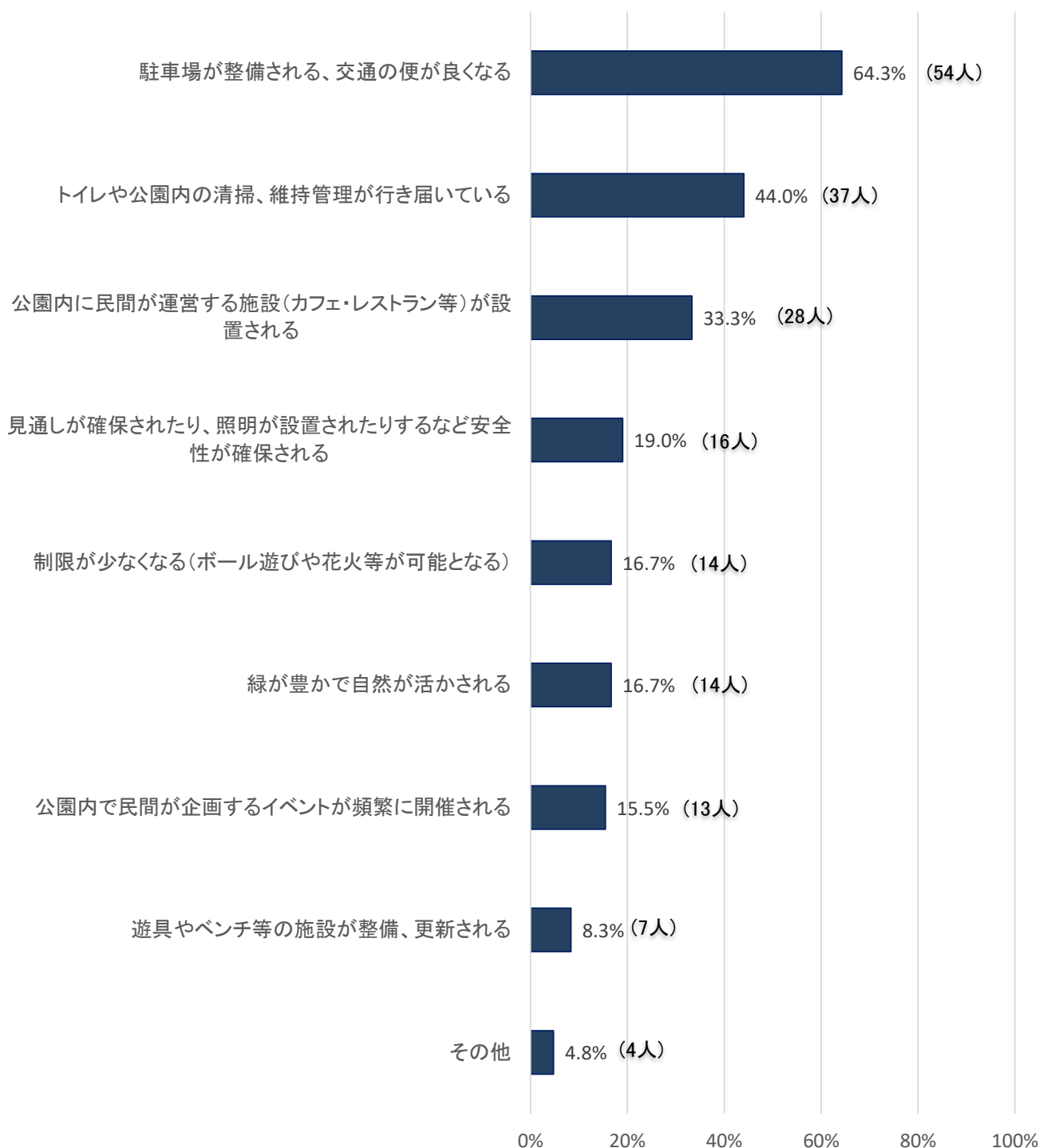


※割合は、回答者数に対する選択者数の値となります。

公園をほとんど利用しない理由として「利用するきっかけ、時間がない」が81.0%と最も多く、次いで「公園までの距離が遠い、交通の便が悪い、駐車場がない」が31.0%、「トイレなど、公園内の清掃、維持管理が不十分」が13.1%、「利用したい公園がない」「制限が多い(ボール遊びや花火の禁止等)」が11.9%となっており、公園利用に対する物理的又は心理的なハードルが影響していることが見受けられる。

問12 問7で「ほとんど利用しない」を選択した方に伺います。どのような公園になれば利用したいと思いますか？（3つまで選択可）

（回答者：84人）



※割合は、回答者数に対する選択者数の値となります。

※「その他」を選択した方の主な意見

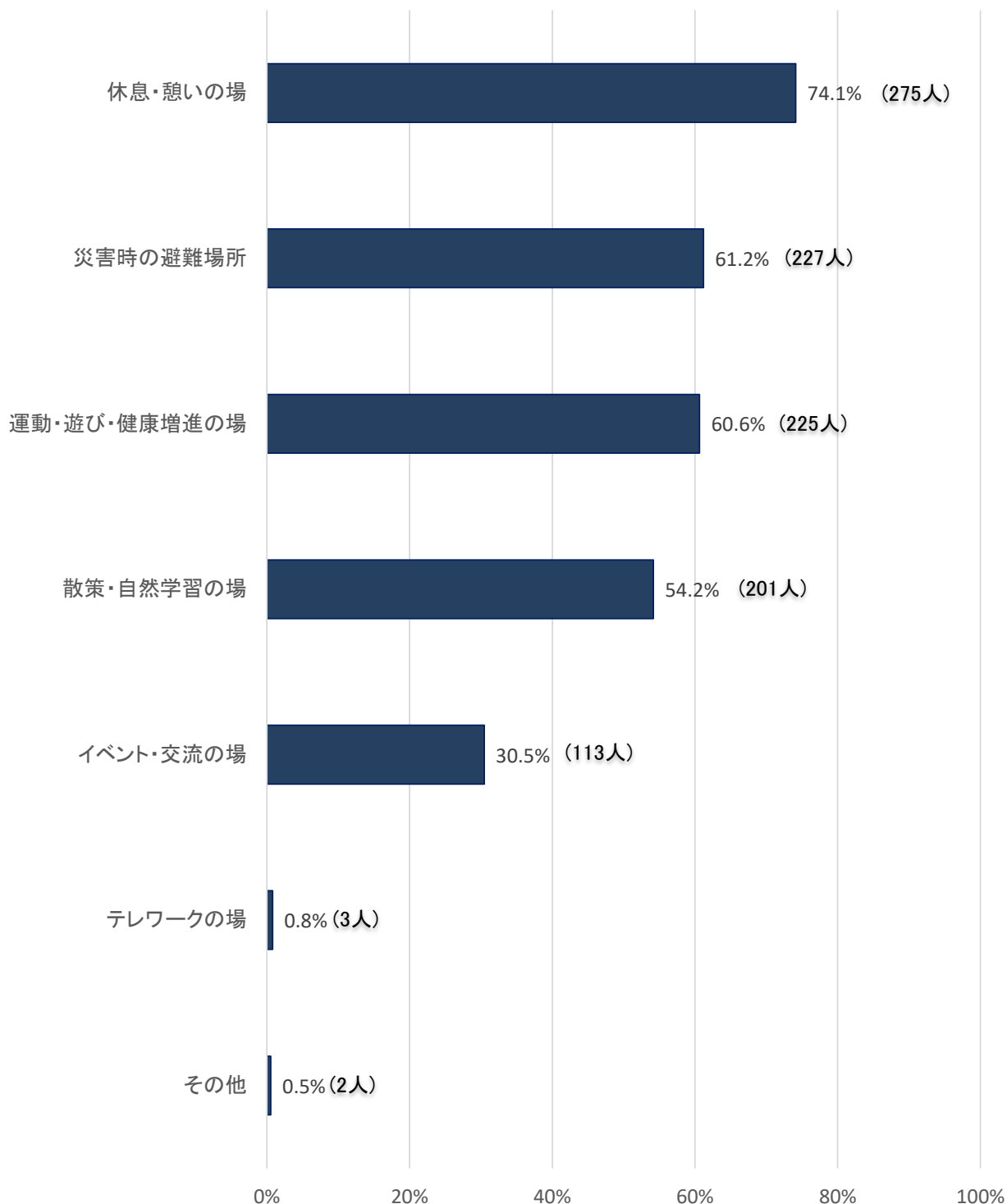
- ・高齢者です。公園に歩行補助ポールや小さな補助椅子が転座して有れば安心して歩けます。
- ・季節に応じて綺麗な花が植えてあれば見に行きたいと思います。

公園を利用したいと思える要因として「駐車場が整備される、交通の便が良くなる」が64.3%と最も多く、次いで「トイレや公園内の清掃、維持管理が行き届いている」が44.0%、「公園内に民間が運営する施設(カフェ・レストラン等)が設置される」が33.3%、「見通しが確保されたり、照明が設置されたりするなど安全性が確保される」が19.0%、「制限が少なくなる(ボール遊びや花火等が可能となる)」「緑が豊かで自然が活かされる」が16.7%であった。

「駐車場が整備される、交通の便が良くなる」は半数以上が回答していることから、特に重要視すべき要因であると見受けられる。

問13 公園の役割、機能として何が重要と考えますか？（3つまで選択可）

（回答者：371人）



※割合は、回答者数に対する選択者数の値となります。

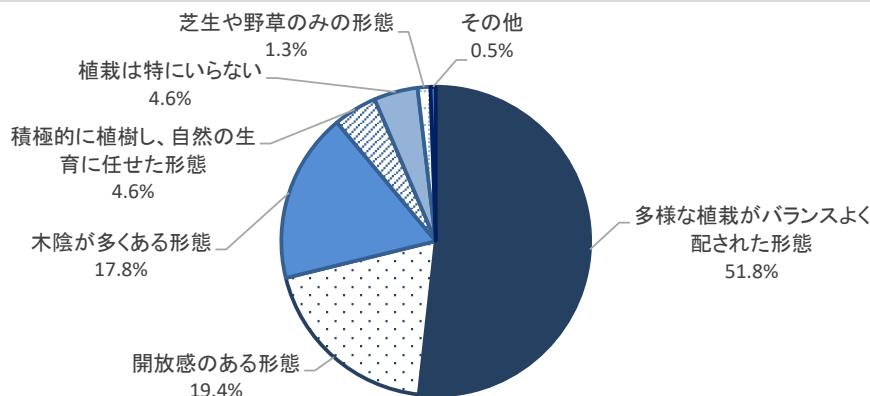
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・上野公園の様に、観光客や外国人が集まって来る魅力がある場所。
- ・高齢者も少し散策や散歩が出来る最低限の心遣い。

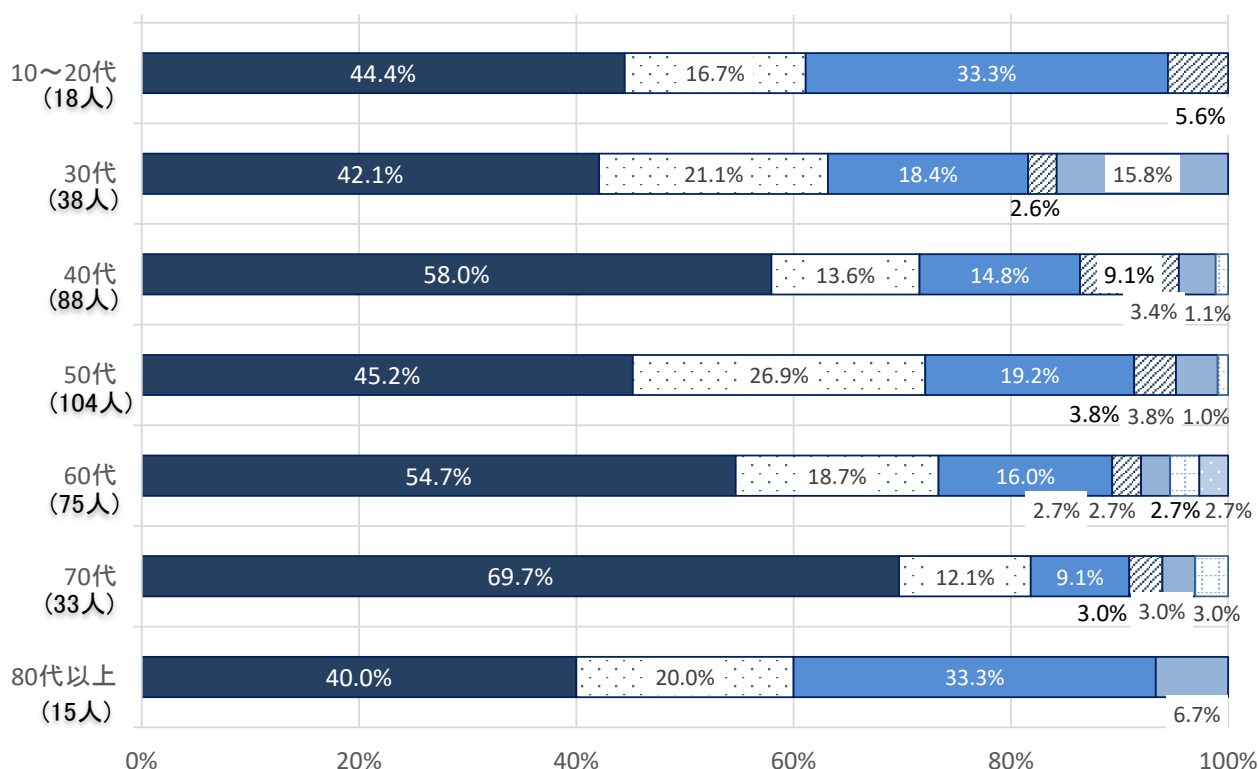
重要な公園の役割、機能として「休息・憩いの場」が74.1%と最も多く、次いで「災害時の避難場所」が61.2%、「運動・遊び・健康増進の場」が60.6%、「散策・自然学習の場」が54.2%、「イベント・交流の場」が30.5%であった。「休息・憩いの場」「災害時の避難場所」「運動・遊び・健康増進の場」「散策・自然学習の場」は半数以上が回答していることから、特に重要視すべき役割、機能であると見受けられる。

問14 公園の緑化について、どのような形態を望みますか？（1つ選択）

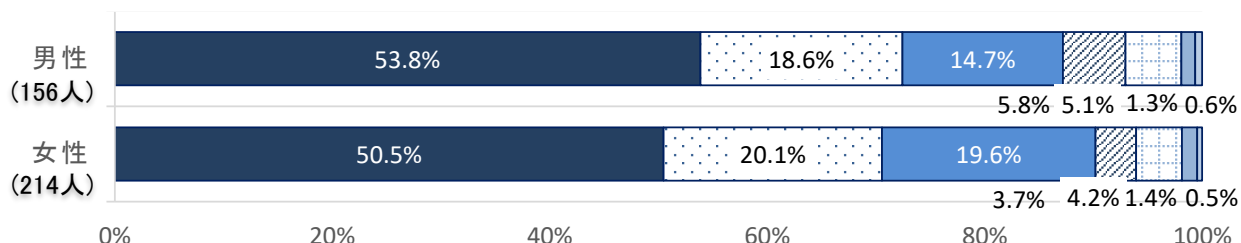
（回答者：371人）



年代別



性別



- 多様な植栽がバランスよく配された形態（高木、中木、低木、芝生）
- 開放感のある形態（中木、低木が中心）
- 木陰が多くある形態（高木、中木が中心）
- 積極的に植樹し、自然の生育に任せた森のような形態
- 植栽は特にいない
- 芝生や野草のみの形態

公園の緑化について、「高木、中木、低木、芝生等多様な植栽がバランスよく配された形態」が51.8%と最も多く、次いで「中木、低木が中心の開放感のある形態」が19.4%、「高木、中木が中心の木陰が多くある形態」が17.8%であった。

年代別では、全年代で「高木、中木、低木、芝生等多様な植栽がバランスよく配された形態」が最も多かった。

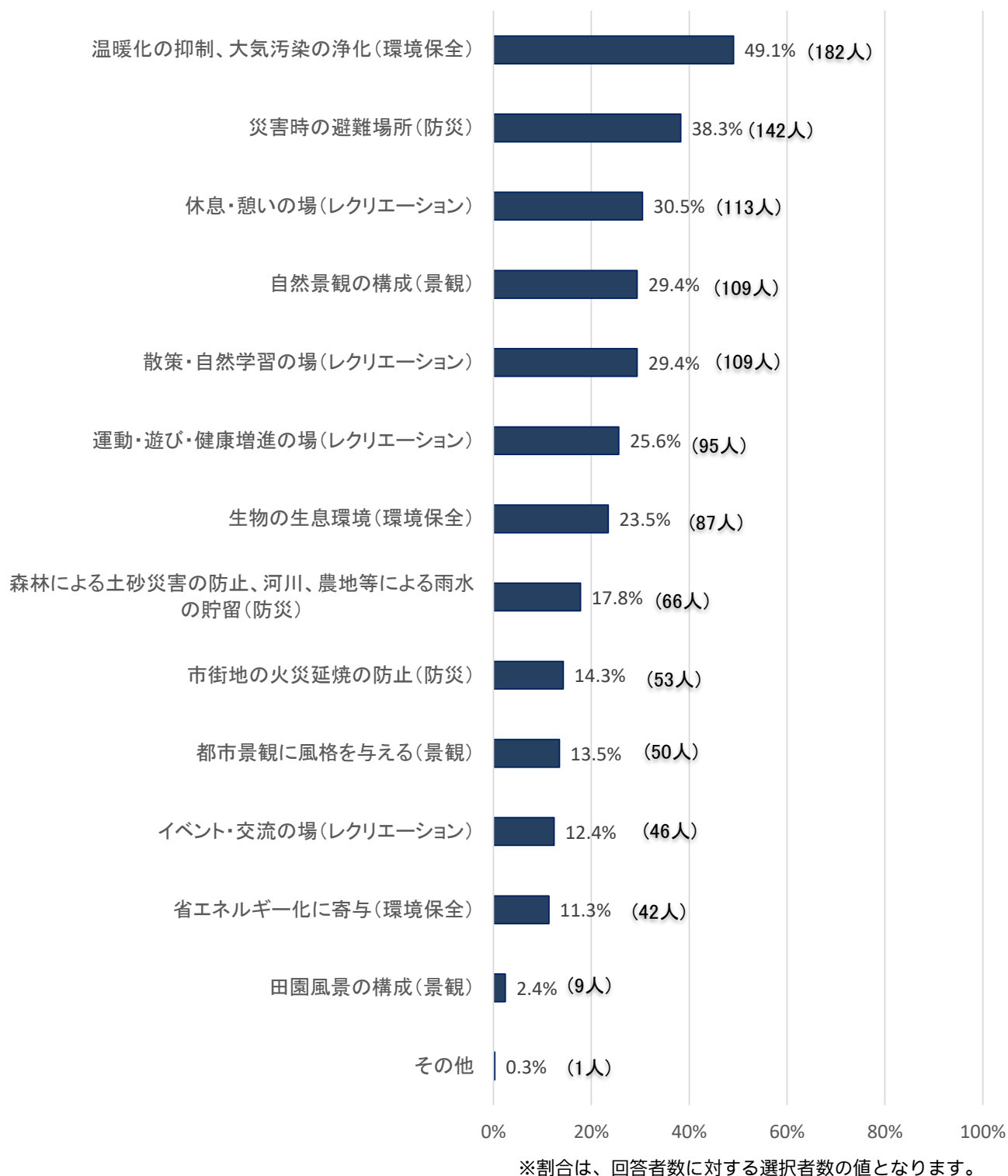
男女別では、大きな差異は見られなかった。

第3章 今後の緑の方針について

問15 郡山市の緑（グリーンインフラ※含む）について、どのような機能が必要と考えますか？
（3つまで選択可）

※「グリーンインフラ」とは、自然環境が有する多様な機能（生物の生息の場の提供、気温上昇の抑制、ゲリラ豪雨への対応等）を活用した、持続可能な地域づくりのことをいいます。

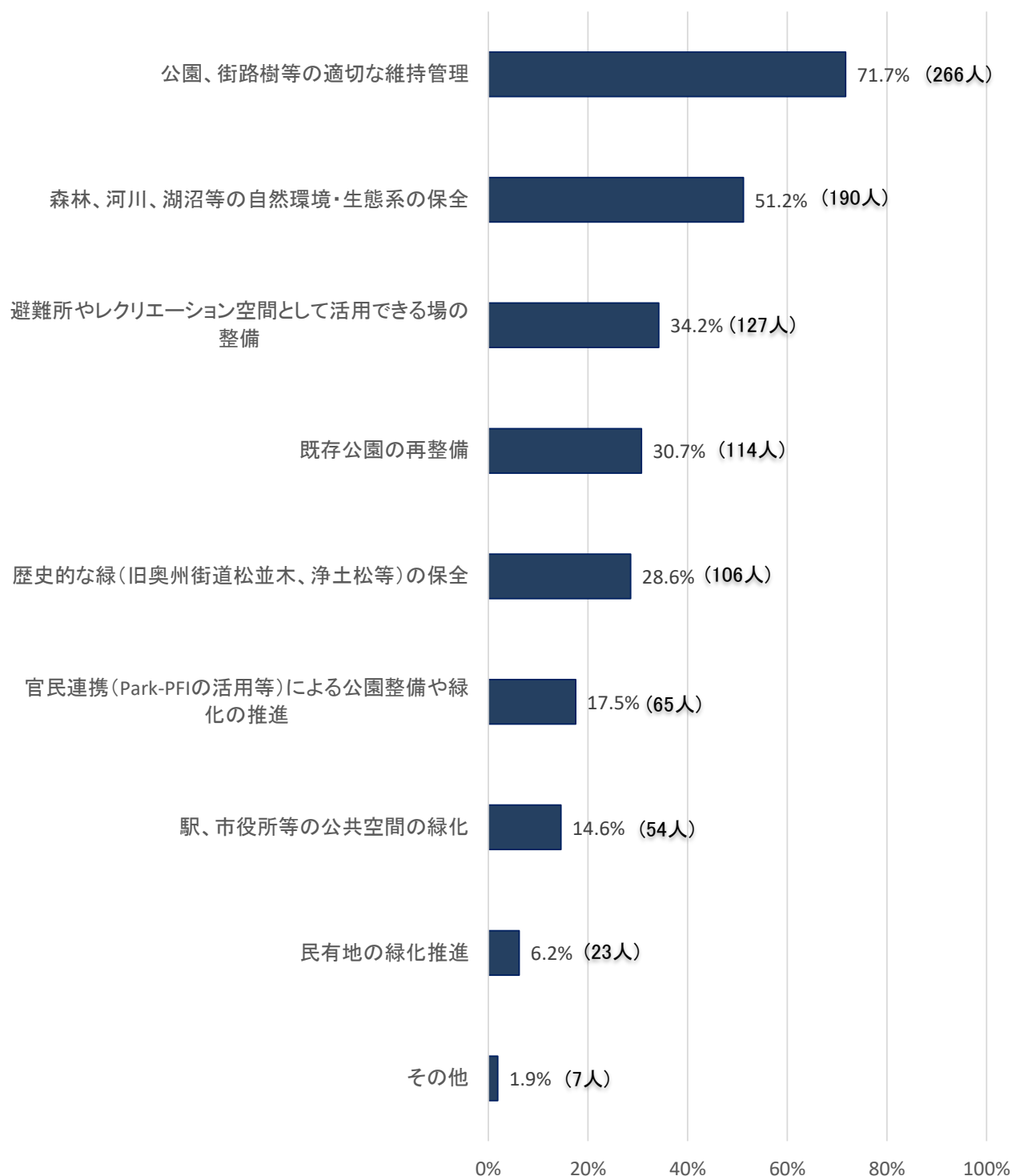
（回答者：371人）



緑の機能として「温暖化の抑制、大気汚染の浄化（環境保全）」が49.1%と最も多く、次いで「災害時の避難場所（防災）」が38.3%、「休息・憩いの場（レクリエーション）」が30.5%、「自然景観の構成（景観）」が29.4%、「散策・自然学習の場（レクリエーション）」が29.4%、「運動・遊び・健康増進の場（レクリエーション）」が25.6%、「生物の生息環境（環境保全）」が23.5%となっており、地球温暖化や近年多発する大規模自然災害への防災意識の高さが見受けられる。

問16 あなたは、市が主体となって実施する取組みとして、郡山市にどのような緑に関する取組みを望みますか？（3つまで選択可）

（回答者：371人）



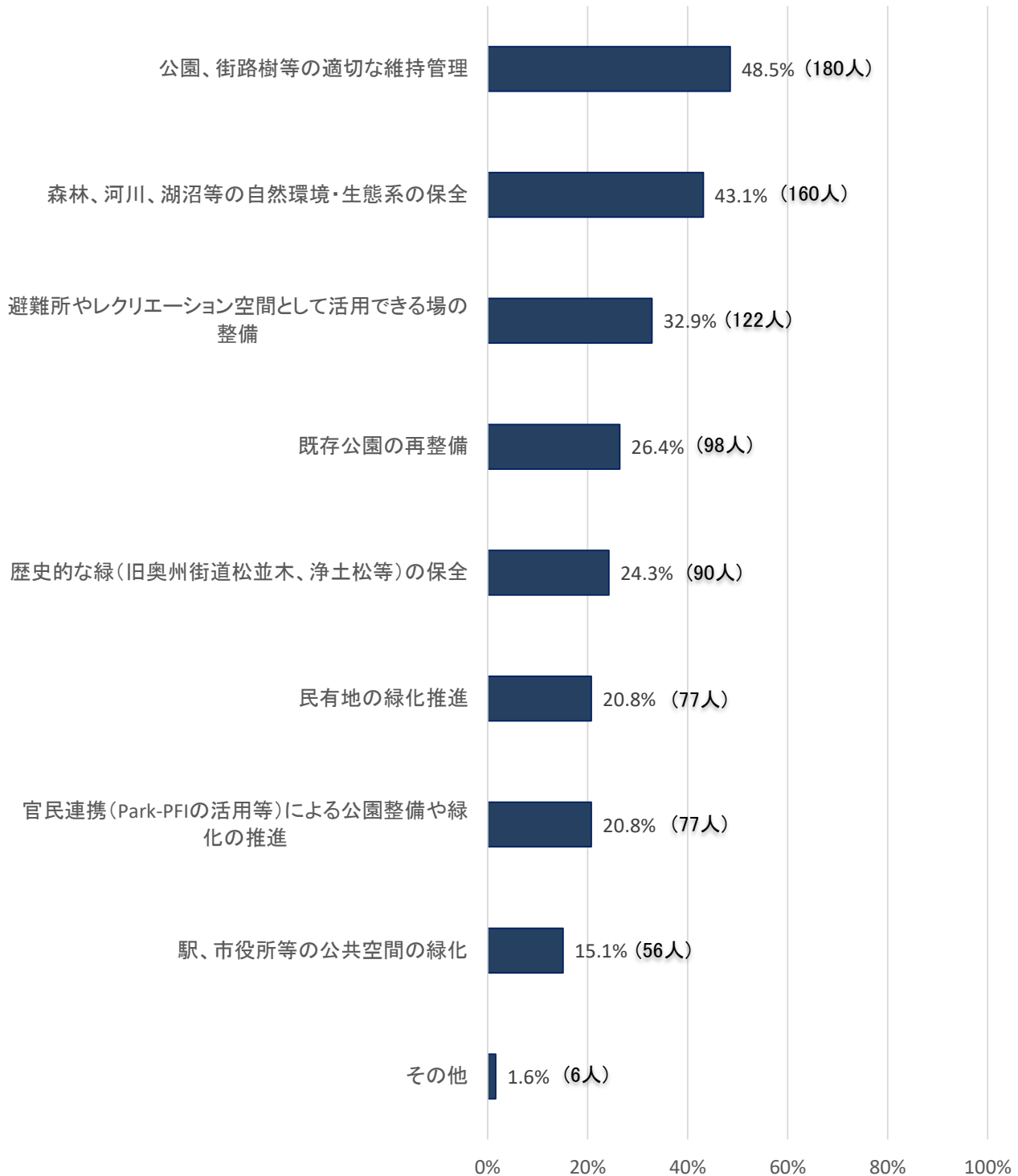
※割合は、回答者数に対する選択者数の値となります。

※「その他」を選択した方の主な意見

- ・カラスは、生ゴミを食べ丸々太って繁殖しムクドリを餌とすることがなく結果としてムクドリも繁殖し、公園樹や街路樹の下は鳥の糞だらけです。公園管理とゴミ対策行政の連携強化。
- ・公園にある杉の木は、花粉症にならない木に変えて欲しい。

市が主体となって実施する取組みとして「公園、街路樹等の適切な維持管理」が71.7%と最も多く、次いで「森林、河川、湖沼等の自然環境・生態系の保全」が51.2%、「避難所やレクリエーション空間として活用できる場の整備」が34.2%、「既存公園の再整備」が30.7%、「歴史的な緑（旧奥州街道松並木、浄土松等）の保全」が28.6%となっており、既存施設の適切な維持管理や再整備が望まれていることが見受けられる。

問17 あなたは、市が主体となって実施している緑に関する取組みのうち、市だけでなく市民の皆さまと一緒に取り組んだらよいと思う取組みはどれですか？（3つまで選択可）
（回答者：371人）



※割合は、回答者数に対する選択者数の値となります。

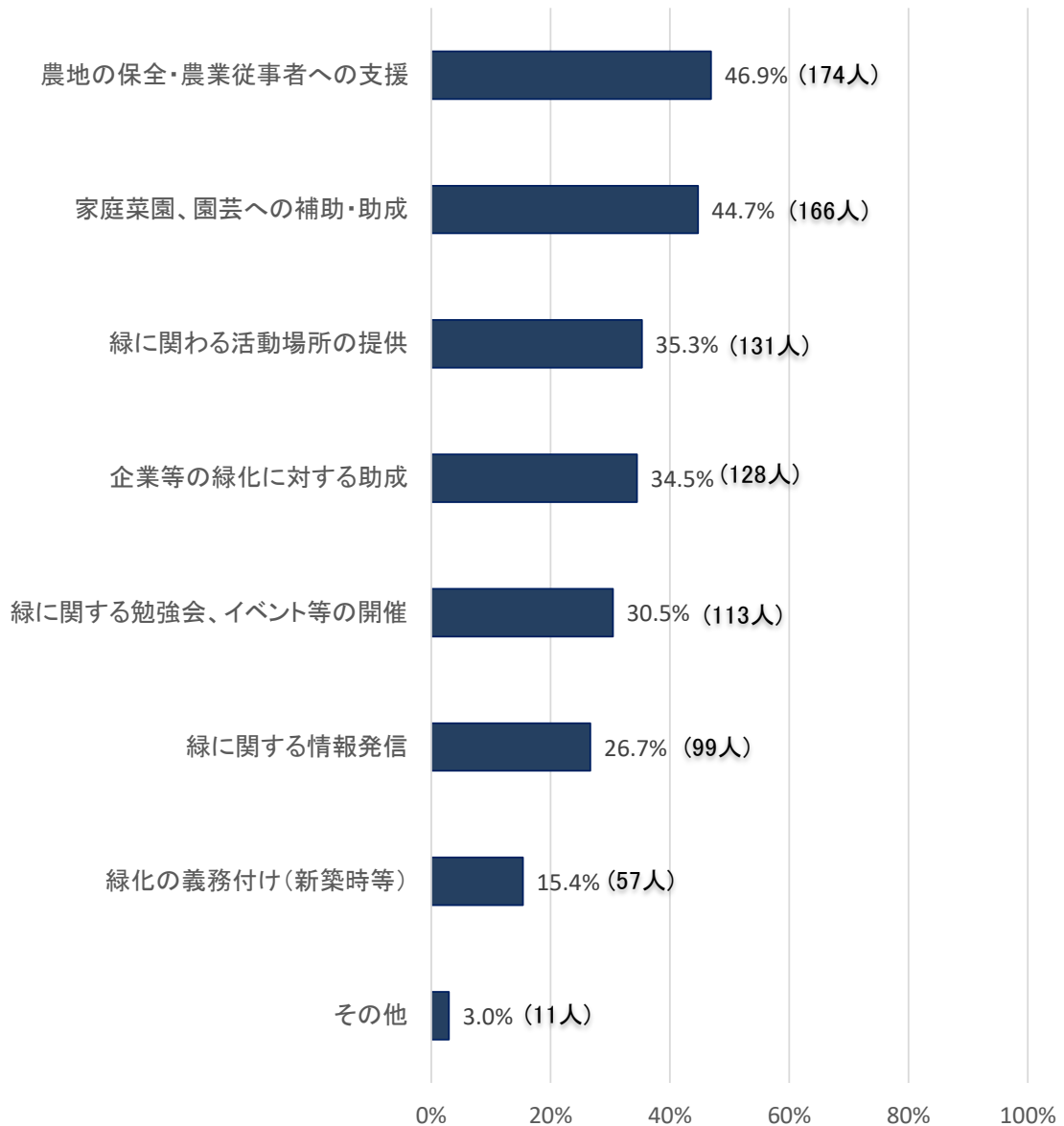
※「その他」を選択した方の主な意見

・市民は生ゴミの出し方を工夫し、ゴミ集積所の日常の維持管理清掃をしっかり行い、カラスやムクドリの繁殖抑制に貢献する。また、庭先の枯葉を集めて近くの公園の腐葉土樹（設置されることを前提）に出すなど、緑の循環システムに出来るだけ協力する。

市民と市が協働して実施すべき取組みとして「公園、街路樹等の適切な維持管理」が48.5%と最も多く、次いで「森林、河川、湖沼等の自然環境・生態系の保全」が43.1%、「避難所やレクリエーション空間として活用できる場の整備」が32.9%、「既存公園の再整備」が26.4%、「歴史的な緑（旧奥州街道松並木、浄土松等）の保全」が24.3%となっており、問16で上位となった内容については、市民協働で取り組むべきと感じていることが見受けられる。

問18 あなたは、市民等による緑に関する取組みに対して、市が行う支援としてどの取組みがよいと思いますか？（3つまで選択可）

（回答者：371人）



※割合は、回答者数に対する選択者数の値となります。

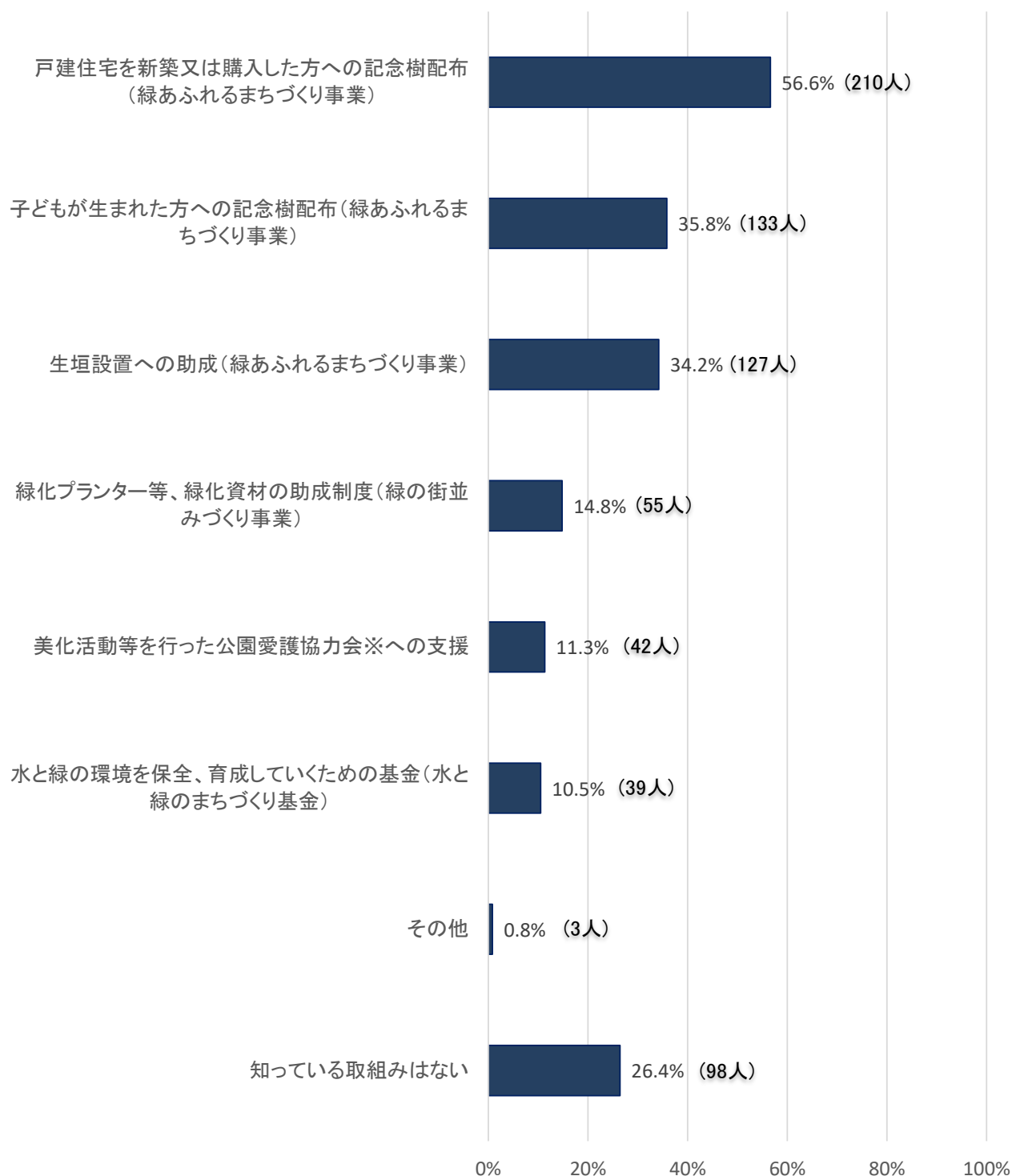
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・ゴミの分別減量、維持管理清掃しやすいお洒落なデザインのゴミ集積所設置などへの助成など、緑には間接的な分野ですが、行政連携支援システムの構築。
- ・公園や道の緑地化（植樹や芝張り）を希望する市民を募って実施し、わが町わが緑感を感じてもらう。
- ・郡山市採用の緑化知識と経験者によるアドバイザーの任命。
- ・家庭の伐採した庭木や草むしりしたものを定期的に腐葉土の資源として回収。
- ・地域でゴミ拾いや草むしり等での道路脇や公共の小さな緑地などの維持への支援。
- ・街路樹に対する徹底した害虫駆除。
- ・住民の高齢化により管理が難しくなっている公園の整備・補助。
- ・市道などの道にかかる土地の所有者に連絡を取って、手入を要請して欲しい。
- ・木が増えると鳥害が増えてしまうため、同時に鳥害対策をする必要があると思っています。

市民等への支援策として「農地の保全・農業従事者への支援」が46.9%と最も多く、次いで「家庭菜園、園芸への補助・助成」が44.7%、「緑に関わる活動場所の提供」が35.3%、「企業等の緑化に対する助成」が34.5%、「緑に関する勉強会、イベント等の開催」が30.5%であった。

問19 市は、次のような緑化支援策を実施しています。このうち、あなたがご存知の支援策はありますか？（3つまで選択可）

（回答者：371人）



※割合は、回答者数に対する選択者数の値となります。

※「その他」を選択した方の主な意見

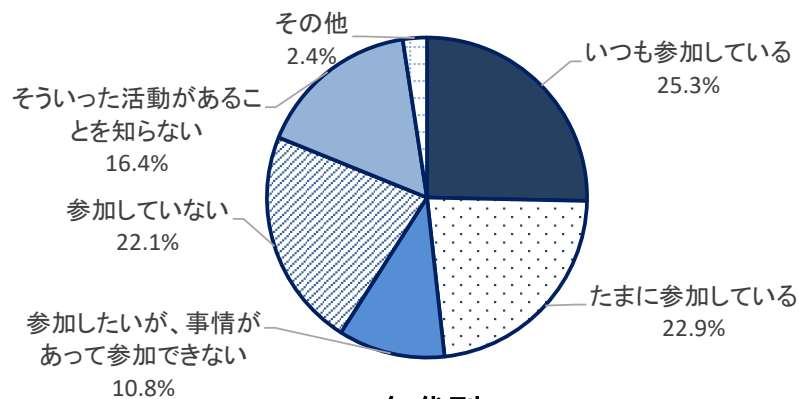
- ・花いっぱい運動。
- ・逢瀬町で開催している森林組合のイベント。

市が実施する緑化支援策の知名度として「戸建住宅を新築又は購入した方への記念樹配布（緑あふれるまちづくり事業）」が56.6%と最も多く、次いで「子どもが生まれた方への記念樹配布（緑あふれるまちづくり事業）」が35.8%、「生垣設置への助成（緑あふれるまちづくり事業）」が34.2%となっている。一方、「知っている取組みはない」が26.4%となっており、取組み自体を知らない方も多く、更なる周知が必要であると見受けられる。

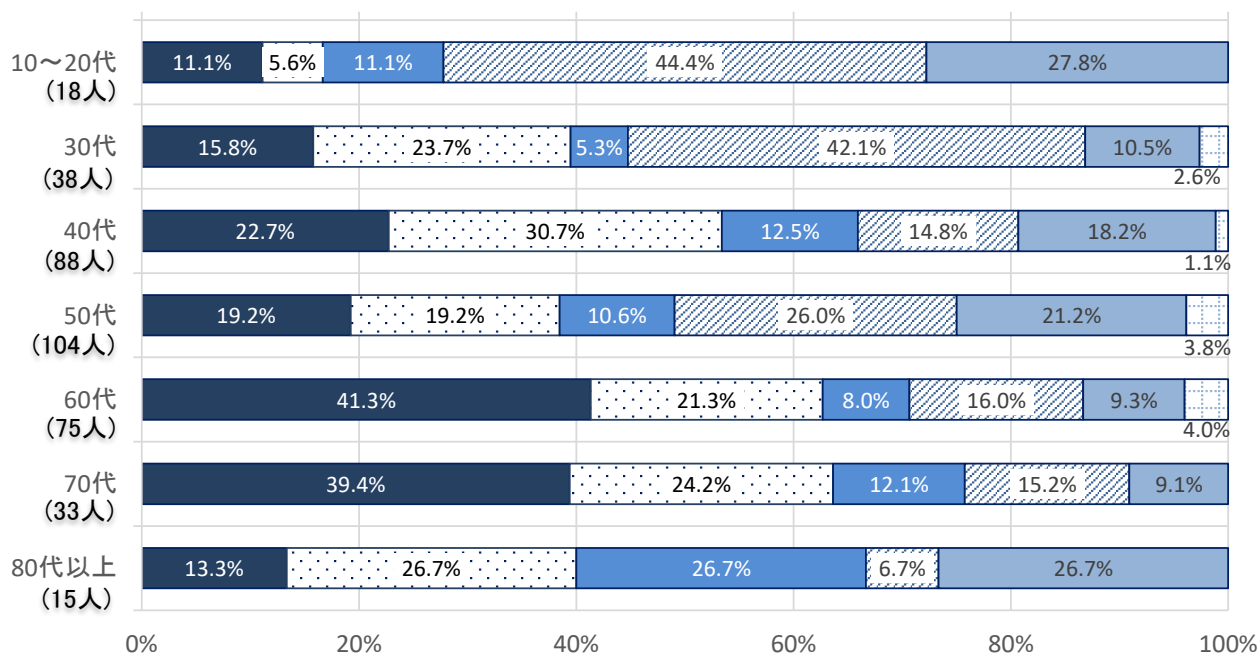
問20 あなたは、町内会や地区などが実施する公園の清掃活動等に参加していますか？

(1つ選択)

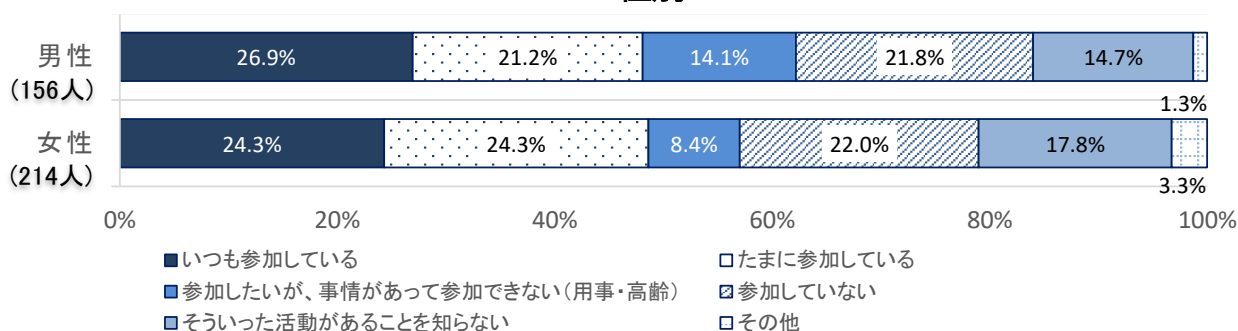
(回答者：371人)



年代別



性別



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・住んでいる町内会にはそういった活動が無い。
- ・町内会が無いのでそういった活動のお知らせがこない。

公園の清掃活動等への参加について、「いつも参加している」が25.3%と最も多く、次いで「たまに参加している」が22.9%、「参加していない」が22.1%であった。

年代別では、40代、60代、70代は「いつも参加している」「たまに参加している」の合計が5割を超えている一方で、10～20代、30代は「参加していない」「そういった活動があることを知らない」の合計が5割を超えていた。

男女別では、大きな差異は見られなかった。

問21 緑の施策について、ご意見やアイデアがあれば、ご自由にお書きください。

(回答者：108人)

緑の維持管理について

市内には適度に公園が整備されていますが、今後は利用しやすさを高める工夫や季節感のある植栽を進めることで、より魅力的な空間にしていくことが重要と考えます。また、街路樹の計画的な更新や小規模な緑地の整備など、日常生活の中で自然に触れられる機会の拡充も有効です。さらに、町内会や地域団体との協働による緑地管理や花壇づくりを推進することで、地域全体で緑を守り育てる体制づくりを強化していく必要があると思います。(40代・男性)

道路の中央分離帯、街路樹等、樹木が倒れるリスクもあります。費用対効果を考え、樹木の植栽を断念してゴムマットで分離帯を被覆する場所を決めるのも必要です。人口減で維持する担い手が減っています。その一方で、通行量が多く、環境対策上も有効な場所には倒木のリスクがない、丈の低い樹木を植栽するのは良い事かと思われます。(50代・男性)

緑化も良いが、その後の維持管理をしっかりやって欲しい。せっかく植えても伸びっぱなしならかえって荒んだ環境になってしまう。また、開成山公園の駐車場の料金が高すぎる。福島市やいわき市は無料だったり、平日は有料でも土日祝は無料だったりする。もっと時間を気にせずにゆっくり過ごしたい。(50代・女性)

自宅付近の公園を利用しますが、特に夏場は雑草が伸び放題で虫が多く、半袖半ズボンで行くと2～3時間遊んだだけで数10箇所も虫に刺されたこともあります。草刈りの頻度を増やして欲しいです。(50代・女性)

緑の整備について

緑の施策、とても大切だと思います。開成山公園まで車で15分ほどかかります。そこまで行かないと、夏の暑い日に日影ができ、ウォーキングが出来る公園が無いからです。歩くと大分離れた場所に太陽が照り付ける公園はあります。でも、近所の人々が寄り集まれるような、身近で環境の良い公園はありません。緑の美しい憩いの場所となる公園がもっと必要です。増えるのは、駐車場ばかりです。大人も子供も集まれる公園が欲しいです。(60代・女性)

空き家や未利用の土地にもっと公園があったらと思うことがあります。空き家なのに家が建ったままの場所が多くあり、暗い印象を与えますが、そこに緑があるだけで少し涼しく和やかな場所と感じると思います。(30代・女性)

温暖化を少しでも無くすため、施設等の建設のために伐採された緑は他の場所に移植して減らさないでいただきたいです。また、夏はグリーンカーテンの利用促進、補助、夏が終わった後のアフターなどがあると省エネにもつながりますのでぜひ企業、各家庭への導入に手助けいただけたら幸いです。(40代・女性)

落ち葉が出来るだけ少ない木を道路左右に植えてください。理由は、美観と交通事故の防止です。落ち葉に火が付いたら危険だと思います。(80代・男性)

街の緑化は景観や防災、生活に安らぎを与えたり、健康維持にも必要な資産だと思います。たくさんの緑があると良いですが、維持管理費も多くかかると思いますので、人が多く集まる公園に費用を集中するなどメリハリのある整備をお願いします。(40代・男性)

公園整備にばらつきがあり、綺麗に整っている公園もあれば、ほとんど手が入っておらず利用したくないような公園(特に小さな公園)もあります。予算的な事情があるのかなとは思いますが、その差はなんなんだろうと思います。(60代・女性)

街中の空き地を緑の公園として活用して欲しいです。そうすれば、空き地もなくなるし街を歩いている時の休憩場所にもなります。管理は、地域の団体や町内会に委託するのが良いと思います。(60代・男性)

市民参加について

郡山市植樹祭的なイベントを定期的に行い、郡山市民に緑の大切さをアピールしたらどうでしょうか。(60代・男性)

子どもが農業体験が出来るようなイベントがあれば、参加したいと思います。子どもに緑に興味を持てる取り組みがあると良いかもしれません。(40代・女性)

市の緑化支援制度について

緑化支援策を何も知らず、3年前に子供が生まれたときも、去年家を購入したときも、記念樹をいただかなかった。去年実施した生け垣も全部自費だったので、助成制度があることを事前に知りたかった。（40代・女性）

市が行っている緑化支援策をほとんど知らなかったのも、もっと周知すると良いと思いました。知っていたら利用出来たなと思うものもあるし、これから利用出来たら良いなというものもあります。真夏に犬の散歩をしていると、緑のあるところはやはり少しは暑さが緩和されているのが分かるので、そういった所が増えると良いなと思います。（40代・女性）

毎回、草がのびたら草刈り機で草刈りしていますが助成があったら助かります。燃料も草刈り機の刃も高いので。（40代・女性）

近所の公園を地元の人が自分のお金で購入した芝刈り機などを使って整備してくれているので、そういう人への助成を促進してほしい。今後作る公園については、絶対に木陰及び屋根付きの場所を作り、遊具は夏にも熱くなりすぎない素材を使用して欲しい。夏になると木陰がなく、遊具も熱すぎて絶対に近寄れず、もはや危険。（40代・女性）

緑のあり方について

緑化はその時は良いと思いますが、植物の手入れが無いと鬱蒼として虫が増え汚くなるイメージが強いです。緑化した後、人の手がきちんと入る取り組みまで考えないといけないので大変だと思います。（30代・女性）

荒れ放題の緑は町が衰退してる感じがする。増やすばかりでなく減らして美しく保てるようにする方が良いと思います。（50代・女性）

公園に緑があるのは嬉しいですが、管理が行き届いていないと怪我や虫が増えたりするので、管理が難しいなら無理に増やさなくても良いと思います。（30代・女性）

緑化を進めることは、地球のためにも心のためにもとても良いことだと思います。しかし、管理する事も大切になっていくため、人手や予算なども必要になることから、官民共にやっていく必要があると思います。除草を地域で行なったり、花の苗を配ったりして意識を高めるなど、小さな所から街を植物で華やかにしていきたいです。また、現在は緑の多いところで、熊の出没が心配です。危険な場所へは足を運ばなくなってしまうので、熊に対する安全対策も必要になってくると思います。（50代・女性）

市の方針について

市の緑化計画&活動には、計画性がない。街路樹を植えても、枯れたら伐採して、その後は何もしない。植え替えることもしない。秋から冬の季節は葉が邪魔になると枝を五厘坊主に伐採、毎年その繰り返しをしている。その様なことで毎年多くの税金を使っている。私の家の脇に市の管理地があり、そこに樺の木があり、伸びたら伐採を人がゴンドラ車に乗って行っており、聞く所によると何十万円も掛かっているとのこと。こんな無駄な事をやっています。何とかならないのですか？（70代・男性）

その他

地域の街並みや公園緑地のみではなく、昨今の野生動物問題もあわせて考えていただきたい。公園は地域住民利活用が優先になると思いますが、ある程度駐車場も確保していただき、市民全体の利用が促せる対策も検討していただきたい。（50代・男性）

緑と公園は一緒のようで別な事だと思います。個人では緑に関する行動は中々出来ない事なので、せっかくある逢瀬公園の緑化センター等で小学生に緑の大切さや季節の花木々等の勉強会を催す機会を作るとか、子供を中心に大人も巻き込んでいく方が楽しく学んだり実行出来そうな気がします。（50代・女性）

家庭の伐採庭木や草刈りで出た草などを燃やせるゴミにするのではなく、定期的に緑の資源として回収し、市の管理する場所にて腐葉土や土に返す取り組みをしてほしい。（60代・女性）

公園のトイレが改修され立派になっているが、その公園を利用している人を見かけることが少なく、車で通りがかりの人が時々利用している程度なので、巡回等により公園の使用状況を調査し、取捨選択を考える必要があるのではないかと思います。（70代・男性）